

平成 24 年 10 月 11 日

各 位

会 社 名 ケ ネ デ ィ ク ス 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 川 島 敦  
(コード番号:4321 東証一部)  
問 い 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 部 長 田 島 正 彦  
電 話 番 号 (03)3519-2530

### 平成 24 年 9 月末時点の受託資産残高(AUM)について

当社グループの AUM は、下記の通り平成 24 年 7 月から 9 月末までの第 3 四半期において 136 億円の純減となり、平成 24 年 9 月末時点において 1 兆 1,038 億円となりましたのでお知らせします。

記

#### <AUM の推移>

	増加額	減少額	純増減	受託資産残高
平成 23 年度期末	—	—	—	1 兆 1,113 億円
平成 24 年度 第 1 四半期	142 億円	158 億円	△15 億円	1 兆 1,098 億円
平成 24 年度 第 2 四半期	315 億円	238 億円	76 億円	1 兆 1,175 億円
平成 24 年度 第 3 四半期	415 億円	551 億円	△136 億円	1 兆 1,038 億円
累計	873 億円	948 億円	△75 億円	1 兆 1,038 億円

平成 24 年第 3 四半期においては、J-REIT による物件取得(合計 198 億円)や新規ファンド組成(合計 100 億円)、AM 受託替案件(合計 117 億円)により、合計 415 億円の大幅な AUM 増加を実現しました。一方、自己保有不動産の売却等(合計 225 億円)や私募ファンド等による売却(合計 233 億円)、更生会社パンフィックホールディング株式会社等の会社更生手続き完了に伴う支援の終了による AUM 減少(合計 92 億円)により、AUM 減少額が 551 億円となった結果、AUM 純増減額は、第 3 四半期では 136 億円の純減となりました。

平成 24 年 8 月 9 日付「1.業績予想の修正、2.特別損失等の発生、3.子会社の異動に関するお知らせ」で公表しましたとおり、当社ではバランスシートの圧縮を通じた財務体質の強化を課題の一つとして取り組んでおり、自己保有不動産の売却等の見込みを公表しています。今年度においては、自己保有不動産の売却等により、第 3 四半期末までに合計 389 億円 AUM が減少しています。

今後も引き続き市場環境の変化に柔軟に対応し、アセットマネジメントビジネスのより積極的な推進に努めます。

以上

注:当社グループでは、以下の基準で受託資産残高の集計を行っています。

- 当社グループがアセットマネジメント業務等を受託している不動産案件が対象です。
- 取得時の物件購入価格(税抜)で集計し、取得付随費用やバリュアード費用(物件価値を上昇させるための資本的支出)等のコストについては、本来は会計上の簿価を構成するものですが、受託資産残高には含まれていません。
- 当社グループが一時的に自己勘定で取得し、アセットマネジメントを行っている物件が含まれています。また、当社の関係会社が資産運用を受託している J-REIT(ケネディクス不動産投資法人、ケネディクス・レジデンシャル投資法人、および日本ロジスティクスファンド投資法人)が保有する物件も含まれています。
- 受託資産残高は、今後の受託資産の売却等により減少する可能性があります。